

空き家対策プロモーション委託業務

公募型プロポーザル審査結果

○審査結果一覧表

(点)

審査項目	候補者	次点者
	株式会社 高知広告センター	A社
(1)業務に対する考え方 (50点)	40	35
(2)企画提案内容 ①マスメディアを活かした広報 (i)新聞 (125点)	92	82
(2)企画提案内容 ①マスメディアを活用した広報 (ii)テレビ (125点)	91	83
(2)企画提案内容 ②SNS等を通じたインターネット上での広報 (75点)	54	49
(3)実施体制・業務実績 (50点)	40	37
(4)事業経費 (50点)	41	44
(5)その他 (25点)	10	10
総合得点 (満点500点)	368	340

○候補者に対する審査委員の主な意見

- ・空き家に関するPR・周知に熟知しており安定感がある。
- ・新聞広告にクロスワードパズルを利用して読ませる取り組みに期待が出来る。
- ・新聞広告の内容を充実し、記事単体でも読ませる工夫をしていただきたい。
- ・「総選挙」、「推し」というテーマ自体はよいが、年配の方に伝わりにくいことから、高齢者の方でも自分事として捉えることができるようにしていただきたい。また、総選挙で選択肢を見せるだけでなく、相談などの次の行動にしっかりとつなげる内容にしていただきたい。
- ・民放3局の良い枠を押さえていることもあり、空き家関連ニュースを取り上げている夕方の情報番組などの報道各局への働きかけをご検討いただきたい。
- ・ウェブ上での展開について具体性が欠けていたため、しっかりと協議を行うこと。
- ・「どうする？うちんく」ロゴをウェブ広告に使用するのであれば、その他の媒体でも積極的に活用し、プロモーションとしての統一感を出すことが必要。ロゴ自体の認知度を上げる取り組みをしていただきたい。